

【ドイツ車いすバスケ】北九州市の実施する感染症対策

① 【出国前】 事前検査・体調管理

② 【入国時】 空港検疫

(市職員を現地へ派遣)

陽性者あり

④ チームに陽性者はいないが、機内に陽性者が発生し
チームの一部が濃厚接触候補者になった場合

濃厚接触候補者

濃厚接触候補者

以外

(専用車両で羽田国内線ターミナルへ)

陽性者なし

国が指定する
一時滞在施設
で待機

濃厚接触者に
該当しない

濃厚接触者に該当

そのまま待機

③ 事前キャンプ中止

選手団は全員北九州市への移動不可
【陽性者】検疫の指定する宿泊施設で待機
【同行者】国が指定する一時滞在施設又は
市が確保する首都圏内のホテル
で待機

※市独自の方針

⑤ 羽田⇒福岡空港へ移動

・空港内は、旅行会社・航空会社によるアテンド
・一般客との導線分離を実施

(専用車両で
宿泊施設へ)

⑥ 【到着日～出発前日】 毎日 PCR 検査

- ・福岡県が委託する検査機関のキットにより、毎日唾液検査を実施(同日中に結果判明)
- ・陽性反応が出た者は、再検査及び医師によるオンライン診察

陽性者あり

⑦ ※事前キャンプ中止

【陽性者】保健所の指定する場所で隔離
【同行者】宿泊施設で隔離

隔離終了

陽性者なし

【出発日】 福岡空港 ⇒ 羽田空港 ⇒ 選手村

・PCR検査は、選手村到着時に実施するため、市では実施不要

事前キャンプ実施にあたり、来北する選手団の感染防止など、以下の諸対策を実施します。

<p>① 出国前</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・14日間の健康観察 ・出国96時間以内に、2回の検査(陰性検査証明書を取得)
<p>② 入国時(検疫) (羽田または成田空港)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・接触アプリ(COCONA)と健康観察アプリ(OCHA)をダウンロード ・陽性者発生時等の連絡調整のため、市職員を現地へ派遣 (連絡は電話等で行い、選手団とは接触しない)
<p>③ 検疫で陽性者が 出た場合の対応</p> <p>※事前キャンプ中止</p>	<p>【陽性者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の検疫が指定する場所で隔離 <p>【陽性者以外(濃厚接触候補者)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の設置する空港リエゾンにより、機内の座席情報等から「濃厚接触候補者」を特定し、国が指定する一時滞在施設で隔離。 ・その後、北九州市保健所により濃厚接触者と判定された者は、引き続き一時滞在施設で隔離。 <p>【陽性者以外(濃厚接触者とならなかった者等)】 ※市独自の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・濃厚接触者(または濃厚接触候補者)でない者は、国の基準では隔離の必要はないが、北九州市が確保した空港周辺のホテルで隔離 ⇒北九州への移動は不可とする
<p>④ 機内の他の乗客から 陽性者が発生し、 選手団の一部が濃厚接 触候補者になった場合</p>	<p>【濃厚接触候補者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国が指定する一時滞在施設で隔離。 ・その後、濃厚接触者と判定された者は、引き続き一時滞在施設で隔離。濃厚接触者と判定されなかった者は、飛行機で北九州市へ移動。 <p>【濃厚接触者とならなかった者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予定どおり、飛行機で北九州市へ移動
<p>⑤ 羽田空港国際線 T ↓ 羽田空港国内線 T ↓ 福岡空港への移動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・空港内での移動時は、一般客と導線を分離 ・羽田空港国際線到着口から、国内線ターミナルまでは、誘導員が同行し、専用車両で移動 ・羽田空港内での移動は、誘導員によるアテンドを実施 ・機内の座席は、他の乗客との間に空席(前後2列分)を確保 ・機内での食事は禁止 ・乗機、降機のタイミングを、一般客と分離 ・福岡空港での移動は、航空会社によるアテンドを実施

⑥ 北九州滞在時	宿泊施設	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡空港から、専用車両で宿泊施設へ移動 ・客室はフロア貸切り ・フロア間の移動は、専用のエレベーターを利用 ・食事会場を貸切りとする
	練習会場	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設から練習会場への移動は、専用車両で行う ・施設を貸し切り、一般利用者との接触を避ける
⑥ 北九州滞在時	PCR 検査	<ul style="list-style-type: none"> ・選手団は、毎日検査を実施 (福岡県が契約する検査機関からキットが送付され、ホテルで唾液検査を実施。検体は検査機関が回収) ・選手団に一定の接触がある関係者は、接触の度合いに応じて、下記の頻度で検査を実施 <ul style="list-style-type: none"> 【毎日】選手団に帯同する者等(例:通訳、市担当職員、専用車両の運転手等) 【4日に1度】選手団と複数日にわたり「1m以内で15分以内の接触」または「1m以上確保した上で15分以上の接触」が見込まれる者(例:食事スタッフ等) 【7日に1度】選手団との接触がごく限定的である者等(例:清掃スタッフ等) ・上記に限らず、感染の疑いがある場合、独自に再検査を実施するとともに、宿舎等で迅速に隔離。
⑦ 市内での 陽性者発生時 <u>※事前キャンプ中止</u>		<p>【陽性者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市保健所の指定する場所で隔離 <p>【陽性者以外の者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・濃厚接触者とみなし、市保健所の指示に従い待機 <p>陽性者が発生した場合、当該種目の事前キャンプは中止とする。</p>

【その他】

- ・選手団の市内滞在中の移動は、宿泊施設と練習会場のみに制限
(宿泊施設のスタッフとの必要最小限の接触以外、市民との直接接触はなし)
 - ・選手団は、来日3週間前までに、新型コロナウイルスワクチンを接種済み
 - ・選手団に帯同する通訳・市職員は、選手団と同じ宿泊施設に滞在(外部と接触しない)
 - ・感染症対策専門家の指導を踏まえた「受入マニュアル」を作成
 - ・ホストタウンと相手国は、入国前に、受入れマニュアルに定める感染症対策をすべての選手等に遵守させることについて合意済み
- また、選手等は、それらの遵守を宣誓するための同意書を市に提出(入国時に各自が署名)